

## **第6回 今後の有料道路のあり方研究会**

### **(1) 平成17年度社会実験の実施状況等**

#### **阪神高速道路における社会実験の概要**

# 社会実験の概要(1)

## 実験目的

ETC無線通行車を対象とした社会実験について、平成16年度に実施された阪神高速道路(阪神東線)週末割引社会実験で交通転換など一定の効果が確認されたことを踏まえて、規模を拡大して実施することとし、一般道路から阪神高速道路へ交通転換を図り、一般道路の沿道環境の改善、渋滞緩和の効果等を調査するとともに、距離の要素を加えた実験内容を新たに実施し、利用者サービスをより高める設定料金の検討や利用者意識の把握等を行うことを目的とする。

## 対象道路・区間

阪神高速道路 全線

## 実験期間

平成17年10月1日～平成18年3月



# 社会実験の概要(2)

割引対象: ETC無線通行車

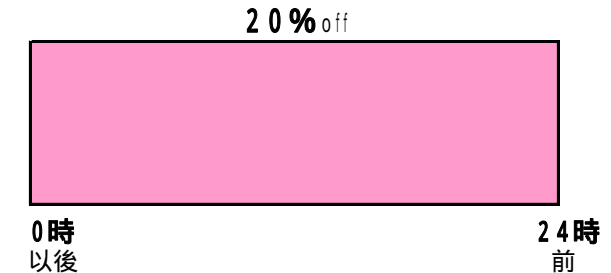
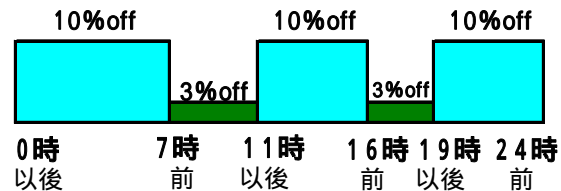
割引率:

土曜・日曜・祝日	全日	20%割引
平日オフピーク時間帯	11時～16時、19時～22時	10%割引
平日夜間	22時～7時	10%割引
平日ピーク時間帯	7時～11時、16時～19時	3%割引

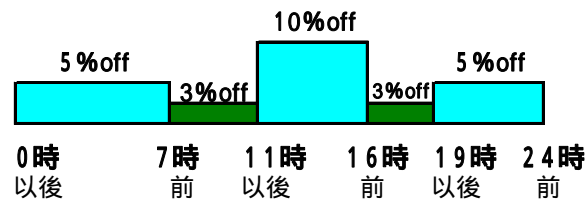
平日

土・日・祝日

阪神東線・南線



阪神西線



# ETC利用台数の増加

- 11月のETC利用台数は9月に比べ平日1.11倍、土曜1.12倍、休日1.14倍に増加している。

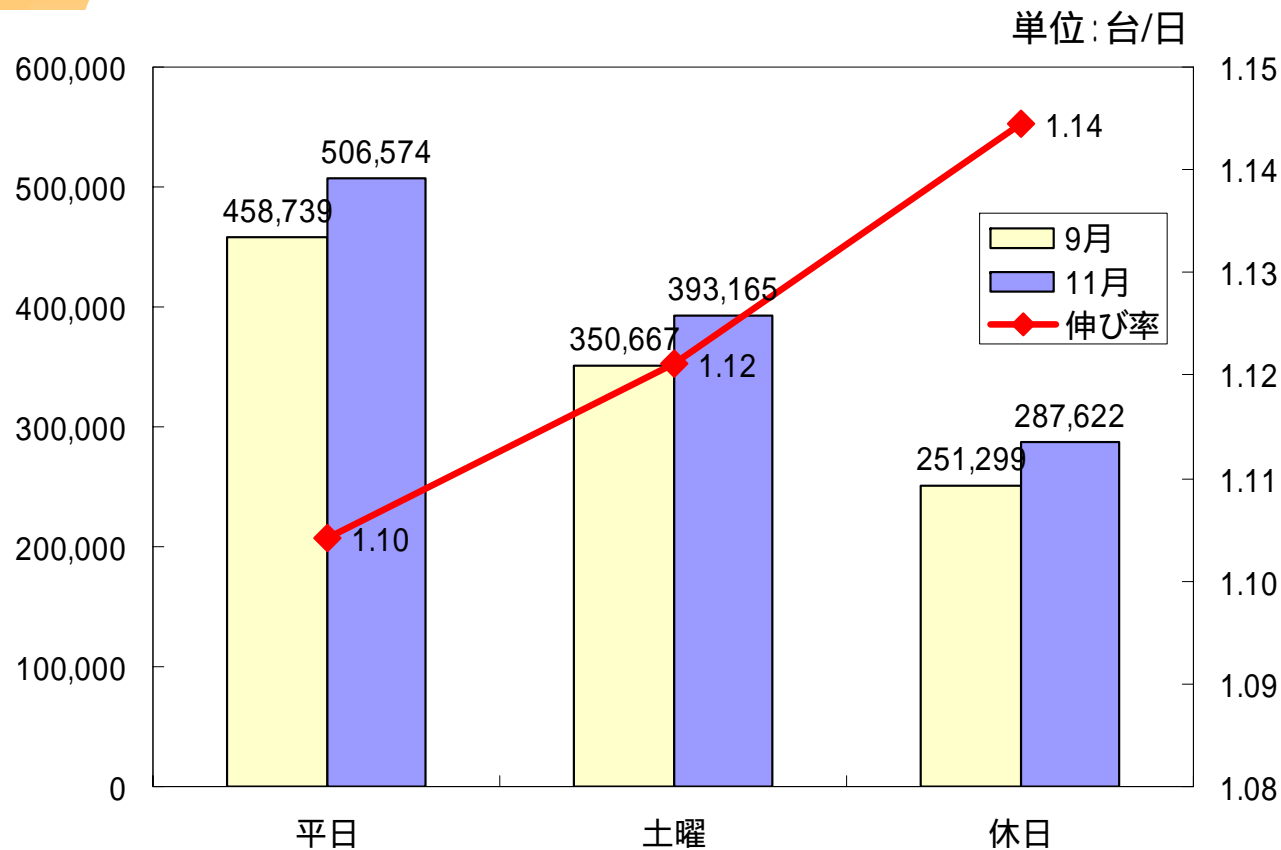


図 平日・土曜・休日別平均利用台数と伸び率

\*: 出入口間の交通を1台として算出している

# ETC利用率の増加

- この間に、ETCの利用率は、47.3% 51.8%となっている。

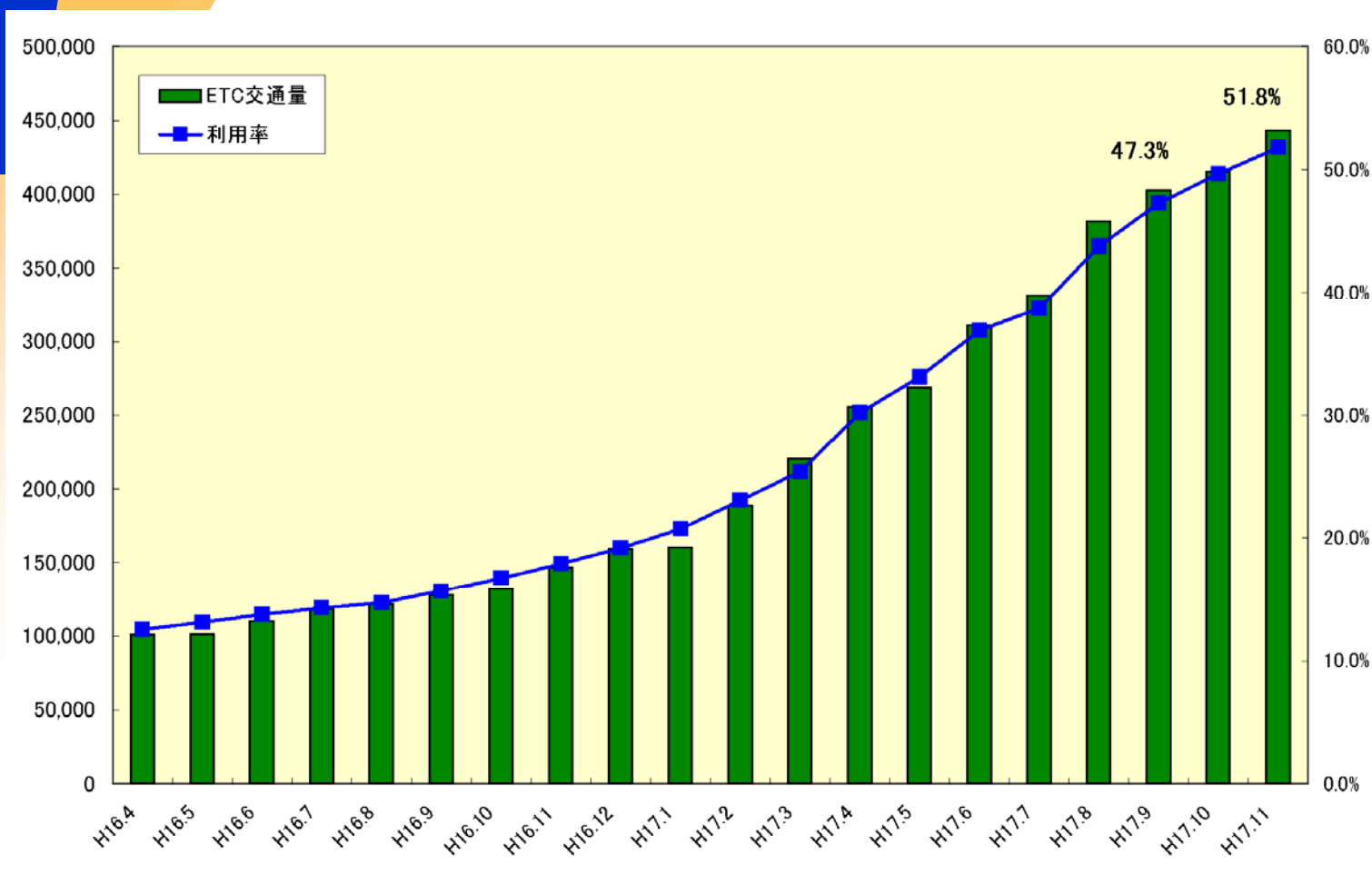


図 ETC利用交通量の推移

\* 備考：利用率は、(ETC利用台数 / 日) / (ETCサービス料金所の全通行台数 / 日)

# 利用回数の増加(1)

- 9月から11月にかけて一人あたりの利用回数は、平日1.06倍、土曜1.11倍、休日1.14倍増加している。

表 季節変動を除去した利用台数および伸び率

		全利用者利用台数			季節変動	季節変動を除去した利用台数		
		平日	土曜	休日		平日	土曜	休日
東線	9月	354,147	263,373	171,383	1.004	352,736	262,324	170,700
	11月	377,621	293,772	196,485	1.009	374,253	291,151	194,732
	伸び率	1.07	1.12	1.15	-	1.06	1.11	1.14
西線		平日	土曜	休日	季節変動	平日	土曜	休日
	9月	141,176	112,526	80,213	1.006	140,334	111,855	79,734
	11月	151,151	126,170	91,382	1.016	148,770	124,183	89,943
	伸び率	1.07	1.12	1.14	-	1.06	1.11	1.13
南線		平日	土曜	休日	季節変動	平日	土曜	休日
	9月	32,986	27,858	22,172	1.040	31,717	26,787	21,319
	11月	34,280	30,428	24,540	1.000	34,280	30,428	24,540
	伸び率	1.04	1.09	1.11	-	1.08	1.14	1.15
全線		平日	土曜	休日	季節変動	平日	土曜	休日
	9月	528,308	403,758	273,768	*	524,786	400,966	271,754
	11月	563,052	450,369	312,407	*	557,303	445,762	309,215
	伸び率	1.07	1.12	1.14	-	1.06	1.11	1.14

\*備考:季節変動係数は、過去五年間のデータを集計して求めた年平均交通量を1.0とした場合の月別の交通量の割合  
 \*備考:9月、11月に利用したETC利用者を対象に台風の影響や機器異常データが少ない日を除去し集計

# 利用回数の増加(2)

- 実験の内容まで知っていた人の23%が、休日の阪神高速道路利用が増えたと回答。

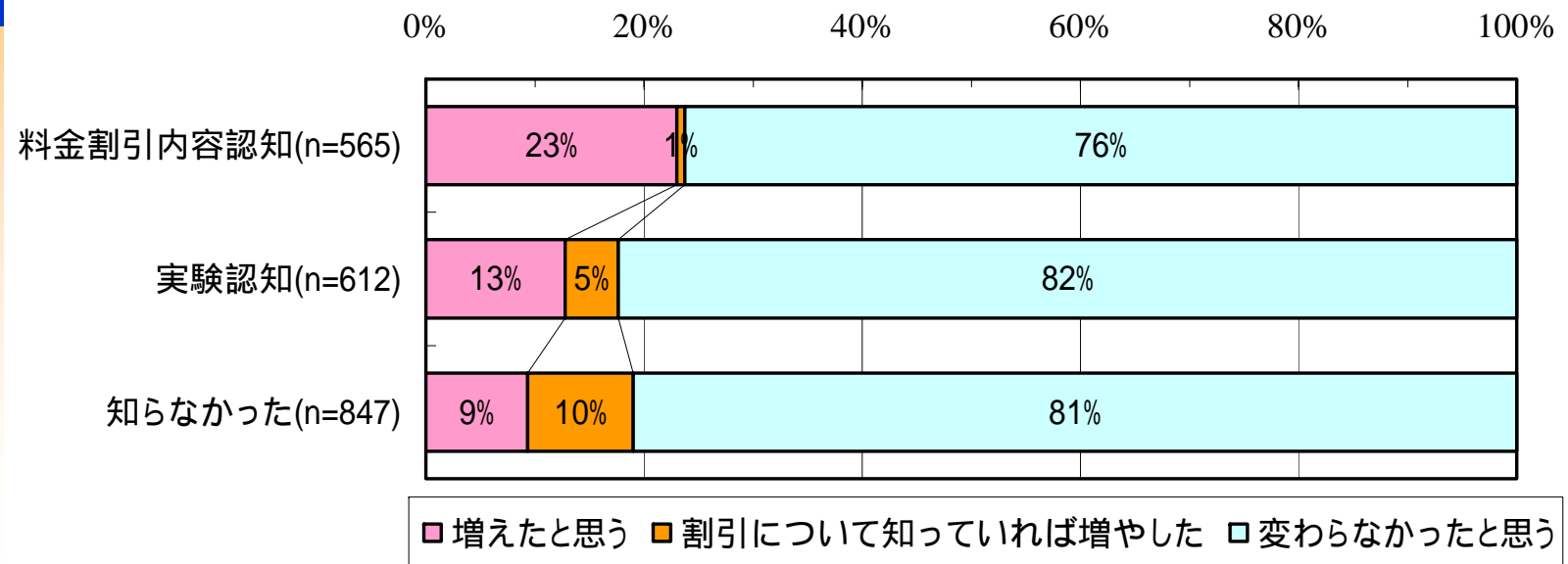


図 アンケート調査・認知度別阪神高速利用頻度の変化  
(休日、ETC利用者)

# 利用回数の増加(3)

- 利用頻度が変わらない理由としては、「通常から利用している」ことが最も大きな原因。

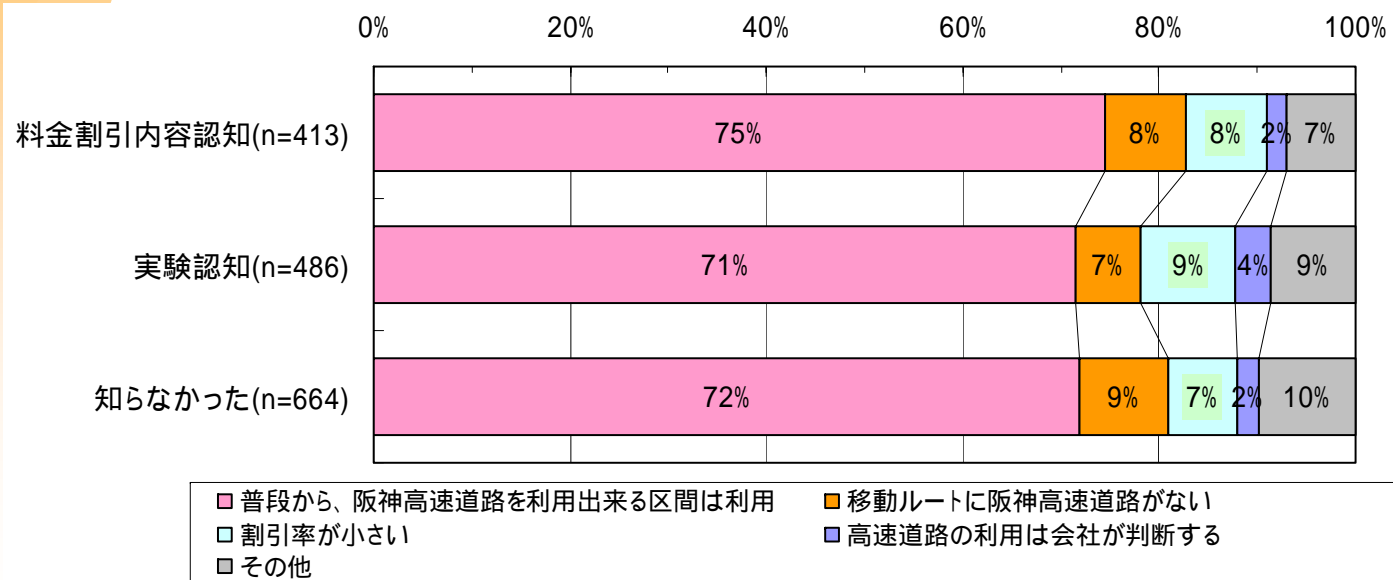


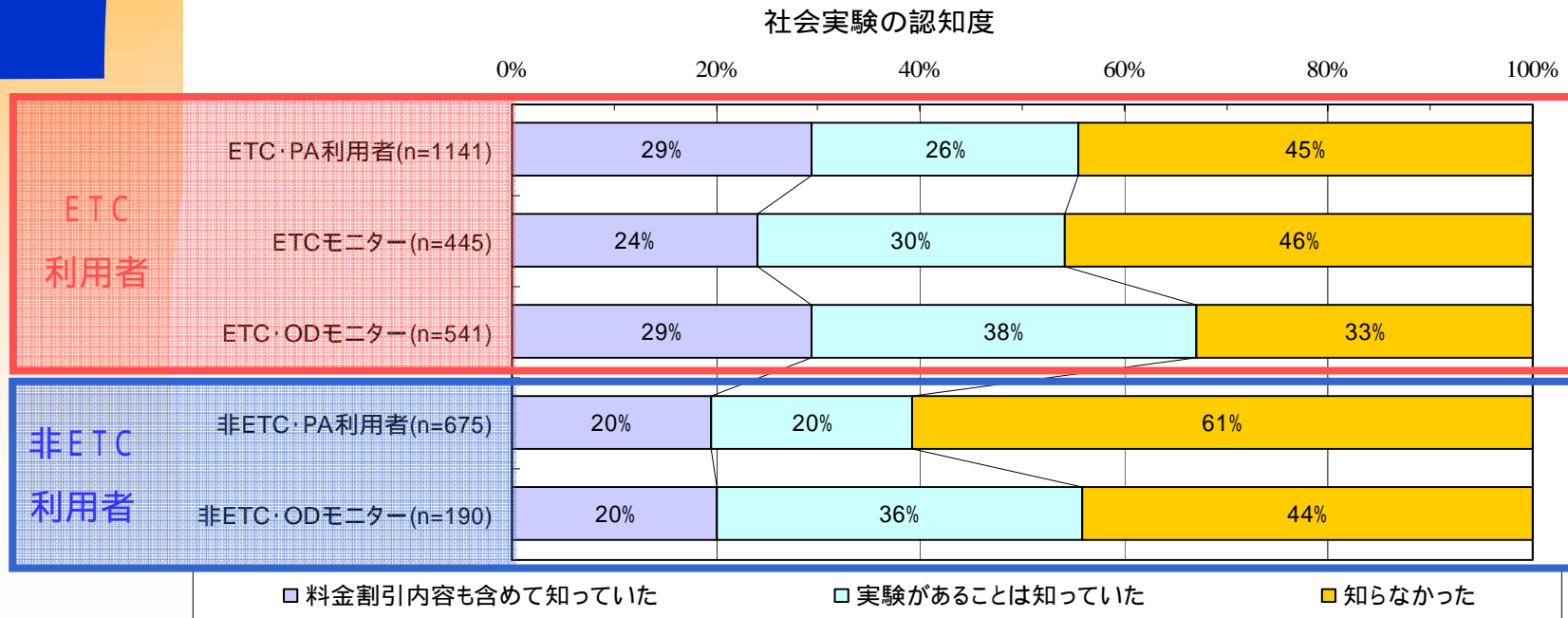
図 アンケート調査・認知度別阪神高速利用頻度を变化しない理由(休日)

注) ETC利用者を対象としたアンケートのうち、社会実験の実施を知っていた方のみを対象に集計



# 社会実験の認知状況

- 社会実験を実施していたことを知っていたETC利用者は全体の6割程度である。



ETC・PA利用者: C.阪神高速利用者(PA)アンケート調査回答者のうち, ETC利用者  
 ETCモニター: A.ETCモニターアンケート回答者  
 ETC・ODモニター: B.阪神高速起終点調査モニターアンケート調査回答者のうち, ETC利用者  
 非ETC・PA利用者: C.阪神高速利用者(PA)アンケート調査回答者のうち, ETC非利用者  
 非ETC・ODモニター: B.阪神高速起終点調査モニターアンケート調査回答者のうち, 非ETC利用者

図 アンケート調査別社会実験認知度